

令和5年11月8日14時00分
資料配布 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

平成16年台風23号メモリアル事業「防災学習会」を開催します 過去の水害を振り返り、教訓を次世代につなげる

豊岡市において大きな被害をもたらした平成16年台風23号の大水害を振り返り、得られた教訓を次世代につなげることを目的に毎年、防災学習会を行っています。

今年は、その機運をさらに高めるために、住民自らの活動報告の場と位置づけて、但馬地域の高校生、豊岡市の中学校、地域コミュニティの3団体に防災活動の内容を発表いただき、知ること、地域の防災・減災を考える機会とします。

【防災学習会】

- 開催日時： 令和 5年 11月 11日（土） 16：00～18：00（開場15：30）
- 開催場所： 本会場 じばさんTAJIMA 多目的ホール 定員150名
（但馬地域地場産業振興センター） 豊岡市大磯町1番79号

※当学習会は、YouTubeにてリアルタイムで配信します。下記URLからご覧ください。

<https://toyooka.bousaiseminar.jp>

（限定公開のため、このURLからしかアクセスできません。）

※終了後、1ヶ月間はアーカイブ配信を行います。

- 取材について：取材は事前登録が必要になりますので、下記問合せ先までご連絡願います。
傍聴・撮影は可能ですが、フラッシュはご遠慮ください。
- 共催：豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所
- その他：災害対応や感染症の状況により、やむなく本学習会を中止する可能性があります。
その場合は、豊岡市や豊岡河川国道事務所のホームページでお知らせします。

<取扱い> _____

<配布場所>

但馬県民記者クラブ、豊岡市政記者クラブ
養父市政記者クラブ 朝来市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

副所長（河川） 松岡 一成
保全対策官 藤田 正晴
TEL 0796-22-3126（代）

平成16年台風23号メモリアル事業

防災学習会

～過去の水害を振り返り、
教訓を次世代につなげる～

豊岡市では平成16年水害を教訓に、防災学習会を始めとして、防災教育教材による授業や住民ワークショップが継続的に開催され、防災意識の向上を目指しております。

今年度の防災学習会では、その機運をさらに高めるために、住民自らの活動報告の場と位置づけて、防災の取り組み内容を伝え、知ることによって、地域の防災・減災を考える機会にしたいと思っております。

日時 2023.11.11 **土** 16:00～18:00 (開場15:30)

会場 じばさんTAJIMA 多目的ホール
(但馬地域地場産業振興センター)

豊岡市大磯町1番79号 TEL 0796-24-5551

事前申込み制

下記申込み先まで
お申込みください。

- 下記の申込み先まで、氏名・住所・連絡先(電話番号等)を添えてお申込みください。
- お車でお越しの際は、じばさんTAJIMA 駐車場をご利用ください。

防災取り組み事例発表

司会：フリーアナウンサー 佐伯 和亜 氏

- ① おもいやり隊
豊岡総合高校・和田山高校
- ② 豊岡市立港中学校
- ③ 八条コミュニティ
(地域コミュニティ組織)

防災の有識者よりコメントをいただきます

東京大学大学院情報学環
特任教授 かねだ としたか
片田 敏孝 氏



2022/10/22 防災学習会 展示パネル

豊岡総合高校と和田山高校の
取り組みを紹介する
パネル展示もあります。
ぜひご覧ください!



2022/10/22 防災学習会
展示パネル

当日はYouTube ライブ配信を行います

右記 URL または二次元バーコードよりアクセスをお願いします。
※ 事前申込みは不要です。どなたでもご覧いただけます。



<https://toyooka.bousaiseminar.jp>

※ 限定公開のため、この URL からしかアクセスできません。

共催

豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

申込み・問合せ

豊岡市危機管理部危機管理課 TEL 23-1111 (代表) / FAX 24-5932 / E-mail bousai@city.toyooka.lg.jp

— 登壇者ご紹介 —

おもいやり隊 豊岡総合高校・和田山高校

豊岡総合高校インターアクトクラブや、和田山高校ボランティア部など、地域の高校生たちで構成される有志団体。被災地を訪れ、支援・交流・検証などの活動を通して、災害や被災者の生活を学ぶとともに、命の価値や日常の感謝の意識を高めることを目的に活動している。本学習会では、今年の8月に地震と水害の被災経験のある熊本県を訪れ、その現地での経験、現地の人たちとの交流活動などについて発表を行う。



防災食・非常食の調理
(熊本県人吉市
ひまわり亭にて)

豊岡市立港中学校

港地区は、世代間の結びつきが強い特徴がある一方で、少子高齢化の進行とそれに伴う自力避難の困難な高齢者の増加が課題である。日中は多くの働き世代が不在となるため、日中の災害時には「地域の防災の担い手」として中学生にも期待が寄せられている。今年度の防災学習では、「中学生として地域でできる役割」に焦点を当て、災害を「わがこと」として捉える活動を展開している。具体的には、災害時の自身や家族の安全確保を前提に、地域と連携・協働して応急救助法を学び、避難訓練や保護者への引き渡し訓練を実施。今後も地域との結びつきを強化した取り組みを進める方針である。



◀ 引き渡し訓練 ▶



◀ 出前講座
「災害時、中学生と
してできること」

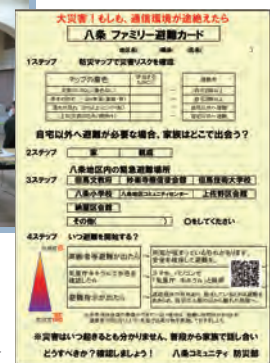
八条コミュニティ（地域コミュニティ組織）

平成29年2月設立。防災部では平成29年から、9地区の自警団が日ごろ行っている防災活動を発表する「自主防災発表会」を年に一度開催。防災情報の交換会と位置づけ、住民たちの防災への意識を高めると共に、防災活動の充実を目指している。

令和4年には「八条ファミリー避難カード」を作成。防災マップによる災害リスクの確認や避難場所の再確認、避難を始めるタイミングなど、普段から話し合っておくことで防災意識を高める機会を持つと、全戸配布を行った。



▲ 定期的に行われている
防災ワークショップ



八条ファミリー避難カード ▶

有識者

かた 片田
としか 敏孝

東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長

昭和35年岐阜県生まれ。工学博士。岐阜大学、群馬大学などを経て、2017年より現職。専門は、災害情報学・災害社会工学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。昨今の新型コロナウイルスと自然災害を通じて、改めて、一人ひとりのリスクに対する向き合い方（命の守り方）の重要性を説いている。

